

在外教育施設実践発表

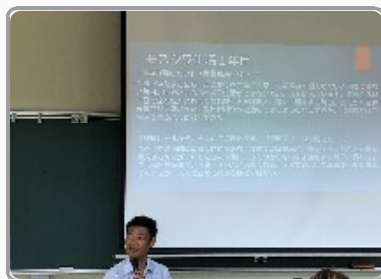
島原市立第二中学校 教諭 寺田 光孝
(デュッセルドルフ日本人学校)



「授業で勝負、質の高い課題を吟味」を目標に、積極的な授業公開、英語力を伸ばすための取組の報告がありました。また、教務主任として時間割の運用や行事の精選に取り組みまていました。

在外教育施設実践発表

佐世保市立大塔小学校 教諭 神浦 大介
(モスクワ日本人学校)



日本とは違う過酷な環境の中で懸命の取り組みが伝わってきました。その中でも、多様性、客観性、国際感覚、家族との時間など、多くの経験が財産になったという報告でした。

令和元年度 九州ブロック海外子女教育
・国際理解教育研究大会(大分大会)プレ発表会

佐世保市立江上小学校
校長 松本 直道



江上小における国際交流の取組についての発表でした。近隣のダービー校との交流や、長崎国際大学の留学生との交流で、生きた英語を活用できる場としての交流の様子がうかがえました。また、外国籍の児童への日本語指導についての取組も興味深く聞かせていただきました。